

平成 28 年 6 月 14 日

各 位



嵐山事業所「嵐山ラボラトリー」が完成

～新規事業の創出にむけて研究開発拠点を全面リニューアル～

太陽ホールディングス株式会社(本社:東京都練馬区、代表取締役社長:佐藤 英志)では、当社の研究開発拠点である嵐山事業所(埼玉県比企郡嵐山町)について、新規事業の創出を強化するため、機能的かつ効率的な施設への全面改装を行い、5月31日に「嵐山ラボラトリー(通称:嵐山ラボ(Ranzan Labo))」として完成しましたので、お知らせいたします。

1982年以来、嵐山事業所では、永きにわたり当社の核となる電子材料技術が培われてきましたが、化学を基礎とした新しい事業の創出に向け、有機合成から先端材料の開発、デバイスの信頼性評価に至るまで一貫した研究開発を機能的かつ効率的に行える拠点を実現しました。今後、半導体分野の研究開発を強化するとともに、多面的・総合的な研究開発体制を整え、新規事業への取り組みを加速させていきます。



記

■「嵐山ラボラトリー」の概要

- (1) 所在地 埼玉県比企郡嵐山町大字大蔵388番地
- (2) 敷地面積 9,900㎡
- (3) 建築面積 2,700㎡
- (4) 延床面積 6,200㎡

※面積についてはおおよそ

太陽ホールディングス株式会社

《本件に関するお問い合わせ先》 人事総務部秘書課 広報担当 03-5999-1511

URL <http://www.taiyo-hd.co.jp>

■特徴

(1) 研究施設

有機合成からNMRやGC/MS、LC/MSといった分析装置、FE-SEM、AFMや白色干渉顕微鏡などの計測機器、さらに作成したデバイスの評価装置を備え、一貫した研究開発をスピーディーに行える環境を実現しました。



(2) 環境

薬品使用設備として換気タイプとフィルタータイプのヒュームフードを併用して使い分け、空調の負荷を低減し、省エネルギーも指向しています。また、化学薬品を適切に扱える設備を完備しています。

さらに、研究員にとって快適な空間であることをコンセプトとし、オフィスエリア、食堂も全面リニューアルしました。発想力・創造力を刺激するため、オフィスエリアの中心には、日本の伝統工芸、世界の画集等を置き、さまざまな一流のものに触れる場を設けています。



太陽ホールディングスは新しく生まれ変わった「嵐山ラボ」での研究開発活動を通して、夢あるさまざまなモノを生み出し、楽しい社会の実現に寄与していきます。

以上

太陽ホールディングス株式会社

《本件に関するお問い合わせ先》 人事総務部秘書課 広報担当 03-5999-1511

URL <http://www.taiyo-hd.co.jp>